

次に20番牟田議員の質問を許可いたします。御登壇を求めます。20番牟田議員

○20番（牟田勝浩君）〔登壇〕

（全般モニター使用）議長の許可をいただきましたので一般質問を開始いたします。

ことは雨、雨、雨。そしてもう一つ雨、いっつも雨が降ったりしました。農作物の影響も心配、ほんとに——これ僕じゃないですね——心配です。（発言する者あり）（笑い声）

雨といえば私が昔聞いた話です、雨降り族ってのがいるらしいです。その一族が雨乞いをするると必ず100%雨が降る。とにかく渇水のとときは、雨が降らないときはその人たちが踊れば100%雨が降るといふ一族があるらしいです。不思議に思って調べました。100%降ります。何でか……（発言する者あり）、降るまで踊ってるから。（笑い声）降るまで、雨が降るまで踊るから100%雨が降ると。

行政も逆を言えば真です。市民が納得するまで、市民が十分満足するまで執行部も我々議会も実行し頑張らなければいけません。そういう意味をおいて質問を続けさせていただきます。

1番武雄市のデザインについて、2番観光、3番、4番、5番とあります。1時間になりましたんで駆け足で行きたいと思っておりますけども。まずこの武雄市のデザインについてであります。デザインは大きく言えば2つあります。本当の意味のデザイン、目で見えるデザインですね。

ランドデザイン、例えば一つの例でいうと新幹線が来たときのデザインはどうしよう、こういうことあったときのデザインはどうしようと、ランドデザイン、この2つがあると思います。武雄市は、じゃ上のほうのほんとのデザインは今現在どうなのかと。多くの方々がこの武雄に視察に来てます。そういう中でですね市報を皆さん方配ってるんですね。視察に来られる方に。市報がもう抜群に評価がいい、デザインがすばらしいと。

これは図書館です。日本デザイン振興会のグッドデザイン賞の金賞を取りました。デザインという面で武雄市はこの部門でも評価されてますし、さっき言いましたいろんな面で武雄市のデザインは評価されてきてます。これは表紙ですね。大体これぐらいから市報の表紙変わってまいりました。これも市報の表紙です。これ消防団ですね。これも市報の表紙。これ見るとほんと旅に行きたくなる。何だろうって目を引くような表紙で写真の写りもすばらしい。これも市報です。これも。ずっとおしゃれなデザイン、目を引くデザインできてると。これは一番新しいデザインです。（笑い声）これは笑いましたけども目を引きますよね、やっぱり。（発言する者あり）こういうふうにやっぱりデザインっていうのは力なんだなというふうに思います。

武雄市において今後デザインっていうところにどのようにこう力を入れていかれると思っているのか。例えばこの後ですけどもこれフェラーリですよね、これもフェラーリです。これはなんだっけ、ランチャか。やっぱりですねこれはイタリアですよね。イタリアの車っ

ていうのはまずデザインからこう目を引いてくと。イタリアっていうのは例えばグッチ、フェラガモ、アルマーニいろんなデザインの集大成でやってます。武雄市もそのデザイン力に目を引いてさらに中身も良ければ素晴らしいことだと思いますけども、まずそのデザインの面でこれから武雄市はどのように力を入れていこうと思っていらっしゃるのか、これを最初にお伺いしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

これから武雄市が目指すデザインの方向性はシンプル、コンパクト、インパクトこの3つです。そしてあと2、3年かかると思うんですけども、例えば表紙に武雄っていう、あるいは武雄市っていうロゴがなくても、あらこれ武雄ねとわかるようにしていきたいというふうに思ってます。シンプル、コンパクト、インパクトです、はい。

○議長（杉原豊喜君）

20番牟田議員

○20番（牟田勝浩君）〔登壇〕

やっぱりデザインっていうのはものすごく大切だと思うんですね。さっき言ったように最初に目に入る部分。

これはですね、御船山さんのホームページです。今本当の家の玄関、例えば市役所玄関っていうよりも今ですねホームページが玄関になります。市外、県外、世界の玄関は、武雄市の玄関とはホームページってのが大きな役割をしていきます。この御船山さん何で——これちゃんと許可とりました、出させてくださいっていうことで。何で許可をとったかという御船山楽園、これは今の社長、まあそのされるとき大体年間お客さんは1万人だったらしいです、年間。どうかしようっていうことでまずホームページ、力を入れようということに変えられました。ここ今ずっとつらつら出しますけども、こういうふうに変えてこられました。今結果どうなったっていうと、年間1万人がたった数年で年間17万人だそうです。ことは年間20万人を目指すというふうに言われております。やっぱりこうやってホームページの玄関の入り口、市の顔ですね一つの。やっぱり力を入れていかんぎいかなんというのをやっぱり話を聞いててつくづく思いました。

これたけなびですね。ものすごくいいデザインだと思います。まあこれ観光協会ちょっと出しましたけども、やっぱりこういうデザイン、そしてこのホームページっていうのはやっぱりこれから力を入れていかんぎいかなんところじゃないかというふうに思います。

これ一つの例でですね、私昔、会社で楽天に出店してました。楽天に出店してて、そのホームページも手づくりでビルダーとかつくって手づくりでしてました。そんなホームページ業者に何十万円もやらず自分でつくろうっていうことでやりましたけども結局ダメでし

たね。例えば自分でつくったら年間月 30 万とかの売り上げは確保できて、ほんとのやっばりプロがやったらやっばり月 200 万とか 300 万もほんとに違って結局手は引いたんですけども、やっばり餅は餅屋に任せんざいかんっていうことで思っておりました。今ずっとやっています。

これは観光協会のホームページ。そしてこれは武雄競輪のホームページです。ちょっとベタですね。私が昔自分でつくったホームページに似てます。これはですね若松ボートですね。これちょっと画像悪いんですけど、ずっとバナーがついてているんなことができます。これはおんなじ競輪の平塚競輪、湘南ダービー、これも湘南ダービー、湘南ダービー、ずっとやってきました。

まずここで伺いたいと思いますけども、市はそのホームページ運営料作成料はどれぐらい使ってるのか、年間。これをお伺いしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

平川つながる部長

○平川つながる部長〔登壇〕

ただいま手元に具体的な数字についてはですね持ち合わせとりませんで、すぐ調査をし御回答申し上げたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

20 番牟田議員

○20 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

ごめんなさい。自分で決算委員会の資料もらってたんで調べました、年間 150 万です。武雄市がホームページの運営の年間のお金は 150 万円。これ多いか少ないか。

さっき共産党江原議員さんが広告の話をされました駅の壁。私はですね前回の質問のときに旅費はどんどんつくってくれと、もう将来への投資だからということで言ったりしました。やっばりですね投資をちょっとしないとですね、この後伸びないと思います。

だからさっき言いましたホームページビルダーでわがどんでつくるもいい、でも餅屋は餅屋できちっと伸ばすべきもんは伸ばしていかなきゃいけないと思ったりします。いつもよく質問ではあれは使いすぎじゃないか、これは変じゃないかって言いますが、やっばりですね使うべきところには使っていないと武雄はこれからさらに伸びてくことはできないと思いますし、さっき言いましたこの玄関。

競輪を何で出したかっていうと競輪はやっばり事業をこれから伸ばしていかなきゃいけないとこなんです、まだ余力があるうちに。いろいろ調べました、武雄市は決算委員会のほうで去年出ておりましたんで大体年間 150 万ってのは把握しておりました。

平塚競輪、平塚競輪はさっき出したとこです、湘南ダービー。ホームページの制作費は 1,600 万です。さっきのページは 1,600 万かけられてます。年間ホームページの維持費は競

輪だけです、競輪だけで1,100万。武雄市はすべてのホームページの維持費で150万、平塚競輪だけで1,100万。やっぱりここで力の入れ具合が違う、もちろん売り上げ自体も違いますけどもこんなに差はないです。

次、若松ボート。若松ボートは年間ホームページ維持費は3,550万。武雄市全体の競輪も含めた観光も含めたすべてのホームページの中の二十数倍の予算をこの若松ボートだけで使ってます。そういう中で確かに、やっぱり経費は節減せんぎいかん、ばってんですね締めて締めて締めすぎるのもどうかなっていうところもあります。

たださっき言ったようにこれ丸ごとこれをまねしてくれっていうと、少なくとも例えばこれの半分、3分の1、4分の1ぐらいは使って、より同等以上の効果を出すべきじゃないかって思ったりします。

次、違うかな。これはフェイスブックのホームページですけども、今言いました年間の武雄市のホームページすべての競輪も含めてすべてのホームページの年間運営費は150万。よそは、この競輪とかこういってだけでこれぐらい使ってるんですね。

今大きな例を出しましたけども今後武雄市のさっき言いました表玄関っていうのはやっぱりホームページなんですね。さっき言ったフェイスブックであり表ページだと思います。その辺のところでもっと力を入れて先に投資してくべきではないかと思うんですけどもいかがでしょうか。

#### ○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

#### ○樋渡市長〔登壇〕

まず方向性とすればちょっと競輪のホームページはちょっと御指摘があつて見たんですけどね、あまりにもださい。もうあれだったらこう競輪の車券買おうっていう気にならないですもんね、ですのでまず競輪のホームページを抜本的に変更します。変更した上でこのスマートフォンあるいは携帯電話で車券が買えるようにもしていきたいと思います。

そういった中で、より幅広いね層を呼び込むためには単に、まあもちろんその本場とかね、本場開催であつたりとかまあいろんなところで買うっていうのもいいんですけど、今ほとんど買い物もスマートフォンとか携帯でやっばできますもんね。そういう意味でいつでもどこでも車券がこう買えるようにホームページそのものもつくりかえていく。そこにはもちろんそのデザインっていうのは必要ですので、こういった例えば若松ボートであるとか先進事例を見ながらしていきたいなというふうに思ってます。このための予算っていうのはしっかり、これ費用対効果があるって見込まれますので、そこはしっかりかけていきたいなというふうに思っています。

まずなんちゅうんですかね、ファン層の広がりからすればこの武雄の競輪のホームページはもう抜本的に見直します。早ければ年明け、年明けに新たなものができるようにしてまい

りたいというように思ってます。それで4月にまた大きな大会が大体ありますので、それまでには少なくとも間に合うようにねしていきたいなどこのように考えております。

ですので牟田議員を始めとしてその先進事例はね、ぜひまた教えてほしいなどこのように思っております、以上です。

○議長（杉原豊喜君）

20 番牟田議員

○20 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

今競輪のほうやっていただけるということで安心してはるんですけども、やっぱりこういうふうにはですね競輪自体が今縮小傾向にある中、よそはやめてってるけど武雄頑張ってるんですね。頑張ってる余力があるうちに力を入れて、それを維持してくということでぜひ、今の答弁で安心いたしました。

これからもそういう気持ちでやっていただきたいですし、もうできればこの市の全体の運営予算 150 万こっちのほうを、これ武雄市ですね。これフェイスブックを市にしたということでものすごく視察も来ましたし、これ知ってる人は知ってるし、知らない人は知らないけど、当たり前の話なんですけどもフェイスブック本社、武雄来られたんですね。武雄来られて竹林亭に泊まられて、なんかうちのフェイスブックを市のホームページにしたクレイジーな市があるということでわざわざ来られたと。やっぱそれぐらいやっぱり注目を浴びる玄関なんですね。

もしよければさっき言いました観光協会、市のここのページさらに充実させていっていただければと思うんですけどもいかがでしょうか。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

確かに今までいけてないホームページがね、もう3年前になるんですけど3年前の8月11日に切り替えましてね、月アクセスが5万だったのが変えた瞬間からこう300万になった。今正確には数字はとれませんけれど恐らく1,000万近くになってると。だから今までのいけてないホームページの5万が今1,000万近くになってるっていう意味では、この市のホームページをフェイスブック化したっていうのは一定の効果が上がったと。

しかしやっぱり光があれば影もやっぱあるんですね。やっぱりこのいろんな指摘があったときに、ちょっと市のフェイスブックページで動きのあるものはフェイスブックでいいんだけど、例えばゴミの収集日の話であるとか例えば引っ越しのときであるとか子育ての情報だ出産のときの情報であるとかっていうのは、どっちかっていうと動的よりもその静的、静かなね意味での静的なホームページがいいんじゃないかということも、結構やっぱ今指摘が、やっぱり注目を集めれば集めるだけありますので、これを牟田議員の質問をきっかけに

ちょっと方針を変更します。ですので動的な動きについては市のフェイスブックで今までどおり行います。しかしここに出ております、例えばくらしの便利帳とかね観光情報とか市政情報とかお知らせとかっていうものについてはホームページをつくります。つくった上でこれをフェイスブックとうまく連動させるようにして動と静が組み合わさってね武雄の住みやすい、いい玄関口にしていきたいなというふうに思ってます。

その流れで私は今観光協会の理事長を2年間仰せつかってますので、その間に観光協会のホームページも抜本的に変えて、これについて今見直し委員会を、まあ牟田議員よく御存じだと思いますけれども入ってますので、最初申し上げましたコンパクト、インパクト、あとなんて言いましたっけ、(笑い声) ちょっと忘れちゃったけど。(「シンプル」と呼ぶ者あり)は、シンプル。シンプル、コンパクト、インパクトで全体の主旨をそろえていきたいなというふうに思ってます。

もとよりこれは市民の皆さんたちにとって特にホームページはね見やすく、見やすい、特に見やすいね使い勝手のいいものをやっばしていきたいなというふうに思ってますので、これはちょっと少し時間がかかりますので、できればあれですね。まあ年明けぐらいに変わってればいいなというふうに思ってます。スピードを上げてこれについても対応してまいりたい。ここでこの3年間の方針を改めて今度またある意味戻すということをしていきたいなとこのように思っております。

**○議長（杉原豊喜君）**

20番牟田議員

**○20番（牟田勝浩君）〔登壇〕**

以前は旅行は情報誌っていうのはじゃらんでありいろんなのを見てきました。今やっぱりホームページなんですね。もう一つはフェイスブックとかそういうSNS。やっぱりこういうふうに見やすい入りやすい。さっき御船山さんの例を出しましたけども、ぜひこういうのに投資をしていただきたい、力を入れて先行投資をしていっていただきたい。私は先ほど言われた電車の広告費のいくらってのはもう大賛成です。

それによるプラス効果がいくらあるか、化粧品会社が広告に売り上げの何割使ってるのか、自動車会社が売り上げの何割使ってるのか。やっぱりそれを考えたら投資っていうのが必要だと思います、これはいかがでしょうか。

**○議長（杉原豊喜君）**

樋渡市長

**○樋渡市長〔登壇〕**

ここはちょっと牟田議員さんと同じ見解が違ってますね、いいものをつくるには投資っていうのはあんまり意味がないんですよ。それよりは私どこでやるかということなんですよ。

例えば図書館がなぜあれだけの87%のね人たちを魅了したかということ考えた場合に、

これは巨額のお金を投じたわけじゃなくて組み合わせさせたのはCCCからなんですよね。ホームページもなぜこれほどこんな田舎のね小さな都市に世界的な注目が集まったかといえば、これはすなわちフェイスブックと組んだからなんです。ですので私はどこも組むかっていうのがよっぽど投資額より大事ですので、もちろん今私どもと組みたいっていうのが山のよに今来ているんですよ。ですのでそういった意味で市民負担を、投資っていうのは市民負担ですので、それをなるべく減らしながらその民間のその活力を組み合わせるということで武雄市の魅力を発信を内外にしていまいりたいとこのように考えております。

その結果かかる経費についてはね、そこは牟田議員さんと同じだと思うんですけども十分につけて費用対効果の面からしてもね市民から何でこんなにつけるんだということの御指摘がないようにねしていまいりたいと、このように考えております。

**○議長（杉原豊喜君）**

20 番牟田議員

**○20 番（牟田勝浩君）〔登壇〕**

先ほど言われましたようにやっぱ組むところも大切だと思います。そしてさっき言った新しいホームページには例えば競輪のリンク、そして観光協会のリンクその2つのリンクを上手に、これさっき出したんですけどもやっぱこの辺リンクだらけなんです。上手にそれもリンク貼ってやっていただければと思います。ぜひそういうふうに変えていただければ、これからも訪れる方は多いと思います。これフェイスブックとこです。

では続いてさっき1番、2番今度は観光のほう。市のデザインってところで、まあぶつこめて1番、2番観光も含めて楼門100周年記念が今度行われます。楼門に関してこの100周年記念大変な大きな事業だと思いますので、どのようにこの体制を組んでいこうと思われているのか。その後ですね武雄市は10周年控えているんですね武雄市。17年だったですか18年になる、もうすぐ来ます。ぜひそういうのも含めて武雄市の100周年記念事業、どのような体制でこう持っていこうと思われているのか、どのような計画があるのかぜひお伺いしたいと思います。

**○議長（杉原豊喜君）**

北川営業部長

**○北川営業部長〔登壇〕**

武雄温泉楼門は来年100周年を迎えるということでございます。その前にことしの12月に東京駅が100周年を迎えるということもございまして、来年4月に武雄の温泉楼門が100周年を迎えることということとあわせまして、全国的にPRをする絶好の機会であるというふうに考えております。

具体的な取り組みとしては現在検討いたしておりますが、観光協会や旅館組合との連携でやっていきたいというふうに思っておりますが、記念イベントやツアーの企画それから情報

雑誌への掲載、あるいは記念グッズ、ノベルティの作成。また東京駅の100周年記念が前もってございますので、その記念イベントへの出店等も含めて考えております。

また町なか数カ所にこの100周年記念の気運醸成を図るために横断幕の掲示、あるいはいろんな町のイベントが既にご覧ですが、それに冠をつけて実施をしていくというふうなことで全体の気運の醸成を図っていききたいというふうに考えております。いずれにしても現在検討中それから既に始めてるものもございりますが、盛り上げていきたいというふうに考えております。

**○議長（杉原豊喜君）**

樋渡市長

**○樋渡市長〔登壇〕**

多分この答弁のままじゃ盛り上がりません。 (笑い声) ですので皆さん御存知かどうか分かりませんがね、東京駅の開所式のセレモニーは当時内閣総理大臣だった大隈重信公なんです、大隈重信公が東京駅を起点として四方八方に光がね飛び散るような駅にしたいということをおっしゃった。

したがって私どもは単にこれをイベントではなくてそういう東京駅は、したがって辰野金吾博士の労作であると同時にあの丸の内、丸の内じゃない。東京駅の北側の丸の内の丸が調のあの地域っていうのを開発したのは唐津藩の同じ曾禰達蔵博士なんです。ですので、そしてそれをオープニングしたのがまさに大隈重信公であるとするならば、あれは肥前藩がやった話なんです。ですのでこれはやっぱり便乗です、便乗。

あのね、値上げの便乗はよくありませんけれど、こういうイベントの便乗はね絶対大事だと思いますので、東京駅にひもづけします。東京駅と武雄温泉の楼門をうまく組み合わせてね、要するに人・物・金を呼び込むということをしてほしいと思っております。

さっき副市長がぼそぼそと、まあいつもぼそぼそ言いますけれども言っていたのは、やっぱりほかと同じことしても絶対来ないということですので、これはちょっとしばらく私どもに任せてください。その上で議会によく相談の上ね出していききたい。だから当たり前のことを当たり前のようにしてもやっぱりだめでねそこは少し、かなりやっぱり工夫の余地があると思っておりますのでこれは私が先頭になってやっていききたいということも思っておりますし、よく議会にも相談をしております。

**○議長（杉原豊喜君）**

20番 牟田議員

**○20番（牟田勝浩君）〔登壇〕**

この楼門100年、先ほど東京駅とやっぱおんなじ事したら、目立たないですね。やっぱりさっき言った10周年も控えてます。有田の作陶400年ですかこれも控えております。ほんとに今呼び込むチャンスなんです。だからもういっぱい呼び込んでその後何が来るかという



と東京オリンピックがあるわけです。(笑い声) 東京オリンピックまで今考え、あと5年しかないのに5年の間にいっぱいいろんなイベントをしていて武雄をどんどん売り込んで、さっきのホームページにつながります。

ぜひこういうことってどんどん売り込んでいていただきたい。それがさっき言った、まあどこ組むっていうのもありますけどもやっぱり投資だということと言わせていただきました。これに向けて、こんどきは外国からがばいくっと思うですもんね。ぜひこういうところに向けて計画的にやっていけたらいいと思います。

先ほど市長がおっしゃいました光を外に飛ばすと、いうことでおっしゃいましたけども…(発言する者あり) この前…ん、(発言する者あり) 何やったかな—頭の話はやめてください。(笑い声) はい。

この前ですね、私が感動したのがですね図書館にですねチームラボ、これ見た方いらっしゃると思うんですけどもすごいやっぱり幻想的ですね。光ってさっき言われましたんでほんとにすばらしかった。

これはチームラボのまあいろんなイベントのやつです。こういうふうな感じですね。これは大体10万20万という数字で万人単位でお客さんが来られるらしいです、これもそうですね。

ただこういうのはその後にも使われる、10周年記念でもそのまま使える、その後オリンピック、ずっと使えます。これ、こういうのでちょっと頭ん中に思い浮かべるのが長崎のランタン祭り。ランタン祭りも光をだーっといって会場にやっぱこういうのを設置されて、今やもうものすごい何十万じゃなくても100万単位の事業になってきてます。そういう中でですね、やっぱりこういうの非日常的な部分を人は求めると思うんですね。

私自身チームラボさんと話したこともないし、ただ見てただけです。見てただけで、ものすごい感動して周りの人たちも来ました。佐賀県が誘致っていうことで聞きましたけども、こういうさっき手を組むところを考えなきゃいけないということ言われましたんで、こことは申しませんが私自身がちょっと実際見て感動したもんでですね、調べたら10万人単位の集客力があるっていうことで、ぜひこういうのを非日常的な感じでやっていただきたいんですけども、その辺のお考えはないのかお伺いしたいと思います。

**○議長（杉原豊喜君）**

樋渡市長

**○樋渡市長〔登壇〕**

まだ正式にはまだお願いはしてませんが猪子さん、まあ僕がすごく仲いい人なんですけど、猪子さん率いるチームラボに今回の楼門の100周年の記念事業の一端をぜひお願いをしていきたいというように思ってます。

これまだ庁内で整理がついてませんので、庁内で整理がついて、まあでもこれ猪子さん相

手がある話で、もうめっちゃめっちゃ忙しいですので、お受けされるかどうかというのはいりませんが、私自身はこれは牟田議員も同じだと思うんですけども、やっぱりできる人をお願いをするというのが大切だと思っています。

これちょっと使わせてほしいんですけど、この画面を使わせてほしいんですけど。これ単にこれ色がついてる、何ていうんですかね。丸、丸、何ていうんですかね。これ何ていうんですか……（「ボール」と呼ぶ者あり）ボールじゃないんですよ。これ重なれば色が変わっていくんですけど、重なれば色が変わっていったから子どもがものすごくはしゃぐんですよ。ですのでそういう意味で猪子さんの作品っていうのは単に光ってるだけじゃなくって、要するにその光の形にも動きがあるということです、ぜひそういう意味で子どもたちがですね、次の世代を担う子どもたちが今度の楼門のその 100 周年、単にライトアップとかだけじゃなくてね、こういったものを入れ込むことによって体感できるって現代のテクノロジーのすごさと、それと武雄の持つ歴史と辰野金吾博士の 100 年にもねつながるような業績がきちんとつながるようになっていうのは、私は観光協会の会長でもありますので、そこはしっかりやっていきたいなというように思っております。

いずれにしても来週かな、猪子さんにちょっと会う機会がありますので、その際に私のほうから正式にオファーをしようこのように思っております。

#### ○議長（杉原豊喜君）

20 番牟田議員

#### ○20 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

やっぱりインパクトですよ、それと子どもが喜ぶそして集客できる。もうそれこそさっき言ったホームページとかいろんな分で組み合わせて観光協会のホームページどんどん宣伝できればと思います。

例えばこれ今ちょっと話でフェイスブックの話から思いついたんですが、武雄市役所っていうのはフェイスブックで友達が 1,000 人以上の方ってぞろぞろいるんですね。そういう人たちを集めてですね、例えばチームオーバーサウザンドじゃないですけどそういう人たちに……（発言する者あり）こう宣伝していただくとかですよ、そういうのも一つの方法だと思います。そういう SNS を使ってですねぜひこういうふうなのを使って、これはさっき言いましたこれから有田の 400 年、そして武雄の 10 周年、最終的にはここまで使う長期の計画でこういうことでやっていただきたいと思います。これによる経済効果、そして集客効果、そして知名度アップ、これをぜひ実現していただきたいと思質問のほうで出させていただきます。

言いました、ランドデザイン。今言いましたデザインとランドデザインをあわせた観光についてであります。ずっとこういうふうにあるわけですね。タケさん通信ってあるんですけども、タケさん通信に関してもやっぱりこうやっていると PR していただきたい

という意味でちょっと載せさせていただきました。

次、いろんなグランドデザインがありますけども教育に関してのグランドデザイン。今ずーっとデザインの話をしてきました。教育で初めてちょっとグランドっていう言葉を使ったんですけども、今いろんなデザインを描かれてると思います。デザインを描かれてると思いますけども例えばとっかかりのですよ、例えばタブレットってのがあります、タブレットがありました。この次花まる学習塾、この花まる学習塾っていうのが来ました。ぜひですねさっき言ったデザインの中でですけども一部しかまだ描いて提示してないのに全部わかっていうのがないんですね。まだ描いている途中の部分もあります。それを見て全部全体は判断なかなかできないと思います。

我々が一番ちょっと以前苦労した部分で市民病院、市民病院の民間移譲のときにやっぱりですね説明を設けなくて風評だけで、来て困るって方がいっぱいいらっちゃったですね、そのとき市長は医療の全体のグランドデザインを描かれてました。

ところがほんの一部しかつかんでない、ほんの一部のデマしか聞いてない人たちが、いんにゃそれはという方が大変多かった。行政側もいろんなところでこう説明に行かれてた。そういう中で私自身も例えばさっきこの花まる、これは私が行って直接写真撮って詳しくやっただんですけども、まだ期間はあと短いんですけどもやっぱり内容をですねどんどんこう外に外にしていかなきゃいけないし、それを判断する一部のところはやっぱり来てくださいと呼んでそして判断をしていただければさっきの病院と一緒にです。ほんの一部の風評、ほんの一部のデマとかでだめになるときがある。

まずここでこういう中で一つお伺いですが、まずこれはあれなんですけども例えば来てほしいってのは町単位でありますよね、町単位でぜひ説明にその協議会で来てほしいってのはありますけども、例えば育友会、保護者会、PTAそういうところからの要望ってのはどれぐらいあるんでしょうか。先ほど答弁でなかなか来ないですよってありましたけども我が子どもの将来の学校んとばすって外にですね、さっき言ったほんの一部のつまみ食いとか何とかでこう判断されても困るわけですね。

私は以前中学校も小学校もPTAの会長させていただいていました。やっぱり心配だからもしそのときはちょっと市役所さん来てくださいと。説明してちょっと保護者の方々に説明したいと思いますっていうような形で飛ぶと思うんですよね。だからそういうふうな要望が来てるのか、はたまたそんな関心がないのか、その辺のところをお伺いしたいと思います。

**○議長（杉原豊喜君）**

溝上教育部長

**○溝上教育部長〔登壇〕**

説明会等の要望でありますけれども、いろんな形で各協議会によりますと例えば今回は町民対象、今回は保護者対象そういう要望あわせてずっと上がってきておまして、これまで

に四十数回ですね、ありましてそれについてはすべてうちのほうから説明に参っております。

（「育友会、PTA」と呼ぶ者あり）えっとですね協議会さんが設定されて育友会さんを対象にっていう形はあっております。

○議長（杉原豊喜君）

20 番牟田議員

○20 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

自分が聞いたのはですね川登はPTAで来てくれっていうことで要望を出されてたらしいんですね、あとはあんまり来てないらしいんですよ。

私が心配するのはやっぱり一番苦勞した市民病院の誘致のときに、そういうふうな、なかなか周知できないのにそういう風評とか一部のつまみ食い判断されてしまいかねないというところは心配ですけども、そういうふうに例えば判断しないのにアンケートとるとか何とかっていうのはやっぱり心配なんですね。

その辺のところで執行部はそんなことがないようにどのように思われているのか。やっぱりですねわからないのにアンケートとれないですよ、知らない人に対して。だからそういうところをどのようにこう対処していこうとされているのかっていうのを伺いたしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

浦郷教育長

○浦郷教育長〔登壇〕

確かにわかりにくい部分もあろうかと思えます。1年前モデル校という形で始めた、始めると、この1年間をモデル校という形で武内小学校にお願いして、そしてきちっともう決めてしまうんじゃなくて、この間に考えていただきたい。実際に授業も見えていただきたい。そして総務文教委員さんが実際直接行ってみてもらったりしたりと、そういう形ですっと理解を深めていただいと。そして各校区でしっかり協議会を立ち上げて考えていただいと。そういう中でこの議会中でも既に説明に来てくれという要望もあっております。

したがいまして拙速にですね賛否云々とかやなくて、しっかりと協議の機会をもつていただいて、私どももそういうことであれば要望ありましたら極力出向くようにいたしておりますので、そういう不明な点を減らした上でですね、御判断いただきたいというふうに思っております。

これが単にですね、今回限らず先ほど申しましたように、長い期間での教育環境の整備というふうに思っておりますので、そのあたりをぜひお願いいたしたいというふうに思っています。

○議長（杉原豊喜君）

20 番牟田議員

○20 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

だから言ってるんですね病院のときと同じようになっちゃいけないと。

例えばある団体がまだ市民に十分納得できていないのにアンケートをとり始めた、やっぱり市民もわからないから不安って書きますよね。だからそういうふうなことでそういうふうにならないようにきちんと、何ていうんですか、それを踏まえて例えばする側もアンケートをするかもしれないですけど、でも知らない人に向かってできないですよ。だからそれを心配してると。病院と、病院のときとなんかこうおんなじようになるんじゃないかという心配です。

知らない人に向かってアンケートとってアンケートはこうですよって出されるのが心配なんですね。ぜひそういうところを注意して踏まえていただきたいんですけどもいかがでしょうか。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

ちょっとそれペーパーをちょっと。アンケート。あれちょっとねお聞きになった方わかんなかったと思うんですよ、このやりとりが。

それでこれ事の発端がね、私きのうですかね楼門朝市に何ですかね総防災訓練の前に出かけたときに、ある保護者が私んここに寄ってきたんですよ、保護者が。保護者がやってきてましてね若木小学校の育友会の会長名で保護者各位にこういうアンケートが来てるということ、これ市長知ったのですかということなんですよ。私そんな知りませんもんね、そんな。これちょっと私もびっくりしてこの段階で何もまだ情報提供もないままにね、しかもこれ先ほど答弁もありましたようにこの方々から呼ばれてもいないわけですよ。

そういった中でアンケートをとるっていうことが僕にはこれ潰しとしか思えないんです、潰しとしか。これ病院のときにさんざんこれ味わいましたので、うん。ですので僕はねこれはよくないと思うんです。

その中でね、ただしね保護者の皆さんの意見を聞くっていうのは僕はすごくこれは大事だと思います。これはアンケートが一番いいと思うんですね。それもやっぱタイミングとどこがやるかということなんですよ。

したがって私はぜひね、これほかの校区にも及ぶ話なんであえて申し上げますけれども、アンケートはぜひとってほしい。アンケートはぜひとってほしい。その場合にも……（「とってほしい」と呼ぶ者あり）え、「とってほしい」と呼ぶ者あり）とってほしいって言うじゃないですか。とってほしい。とってその上でそれを選考のときの判断基準にしたいと思います、選考のときの。だって望まれてもいないものをやるっていうのは僕は本意じゃないんです。だから少なくとも70%のね、70%の保護者の皆さんたちがやっぱこれはぜひ官民

一体型学校したいと、してほしいといったところに私はぜひそのうちの判断要素の一つに加えたいというふうに思ってます。

その上でじゃあどこがアンケートをとるかっていうのは、僕はねこれね学校がいいと思うんですよ学校が。その、育友会とかじゃなくて学校がその責任を持って主体となつてね、その地域協議会ときちんと協議をした上でアンケートをとると。公表するか否かについてはそれはお任せします。僕はもう公表してもいい、全然いいと思っていますけれども、ぜひそういう段取りを今度の協議会の場合でもね、ぜひその問題設定をしてほしいなというふうに思っています。

ですのでさっきの話戻りますけれども、楼門朝市んときにお見えになった保護者はものすごく不安がってたんですよ。こんなアンケートとられたらもう反対で6割か7割超えます、だってわかんないからってということ言って、です、ので、そうあつては僕はならないと思っていますのでぜひその民意っていうのは絶対大事です。大事ですが聞くタイミングっていうのをねやっぱりしっかり我々が説明をして意見交換をした上で最終的にやっぱこう選ぶと、選ぶっていうふうにぜひもって行ってほしいなっていうふうに思っていますので、このアンケートについてはね、もうこれ9月5日付けでもう流れてるんですよ。これを撤回せろとはもう言うつもりもありませんけれども、ちょっと私はこのやり方については甚だ疑義を持っております。

#### ○議長（杉原豊喜君）

20 番 牟田議員

#### ○20 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

これがさっき言った病院の……（発言する者あり）例と重なって見えるわけですね。病院のときほんとに苦労しました。市長も苦労されたと思います。この議会の中でももちろん賛成派、反対ありましたがやっぱり苦労しました。

いろんな部分で飛び火して一部しかわからない、そういう不安があるのでぜひ今回はですね、いま市長が言われたようにきちんとした、把握した上でやっていただけるようなアンケートにやっていただきたいと思います。

では次の質問に移らせていただきます。次は周辺部対策。これはみんなのバスと日輪号の連携っていうことで質問させていただきます。これは日輪荘ですね。もう毎週1回例えば各町いろんなところでバスが回ってきます。そういう中でその日輪号は大きいんでなかなかその場所まで歩いて行けない、その地区までバス乗り場まで歩いて行けないっていう、結構多いんですね、周辺部の方。特に周辺部は道が細いんでなかなか行けない。

こういうときにさっき言いました、このみんなのバスを活用してできないか。もちろんこれは地域でいろんな形で協議会で運営していくものですが、そういうことが可能なかどうか、こういうことができるかどうかっていうのを伺いたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

可能です。

○議長（杉原豊喜君）

20 番牟田議員

○20 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

うちの町の永野の、行きたいけどここの日輪号に、場所まで行けない、乗り場所まで行けない、ほんとに多いです、各地多分ですね結構いらっしゃると思います。

そういう中でこのみんなのバスを利用してそうやって日輪荘の乗るところまで行ったらものすごく週1回ですけども、週1回回ってきますけどもほんとに楽しみにされてるんですね。古賀福祉会長もそして元の角部長さんもいらっしゃるんですけども、ものすごくそういう面で力を入れてらっしゃるところでぜひやっていただきたいと思います。

先ほど可能ということですけども再度答弁をお願いしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

これ可能っていうふうに言ったんですけども、これ私どもがこれ独断と偏見でやるわけにはいきませんので、一つのその流れとすればよく地元で協議をされたいと思います。地域ニーズに沿って地元で協議をされた上で最終的にはこれ日輪荘につなぐ話になりますので、社協に申し入れるということにもなりますので、幾つか手続きがありますので、よく私どもの担当課と調整をしていただきながら最終的にそういった、まあいわゆる認可ですよ、得られるようにぜひそういった努力をして地元の皆さんで汗をかいてほしいなどこのように考えております。

○議長（杉原豊喜君）

20 番牟田議員

○20 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

周辺部はほんと助かるんですね、喜ばれてる。これきのう敬老会がありました。そういう中でもこういうことを言われました。その場所まで歩いて行けないんで何とかできないか。今の答弁で町としても我々もそういうふうにするようにして協議していきたいと思います。

では続きましてITインフラ整備、これはもう前回から質問してるところです。光通信の整備、そしてワンストップ行政。前回答弁でもものすごくいい答弁をいただきました。その後ちょうどケーブルテレビさんと比較論で出しましたよね。ものすごいメール来ましたよ。(笑い声)ものすごいメール来ました、連絡来ました。(発言する者あり)ものすごく来たんです。

そういうふうなこの光通信網の整備、今後どのようなスキームでやっていただけるのか。そしてワンストップ行政。これはうちの父がちょっと先般みまかったときにものすごく大変だったんですね手続き。やっぱりこれははよせんぎいかんになっていうに特に思いました。この2つの進捗状況をお伺いしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

2つというのは光通信整備の中の2つでしたっけ、どっち、ワンストップ行政も。

〔20番「どっち、どっちでもいいです」〕

はい。まずですね、まあ高速情報通信網の整備で光、光の部分ですよ。これについては、平成27年度にもう事業を開始します。開始した上で議員さんと私の任期中の平成29年度末までに全市域でのサービスを開始を予定をします。

ですのでそれに応じて、一定これはもう事業者と二人三脚で進めるということになりますけれども、いろんなところでこの光通信のメリットが享受できるようにしていきたい。これは周辺対策の一環もありますので、それはそのようにさしてもらえればと思っております。

そして光以外にも、その高速情報通信網そのものですよね。これは私の公約にも記載をしていますけれどもまあこれは市街地、特にこの周辺ですよ、こう人口に満ちている周辺については公衆無線LANの整備も進めていきたいと思っています。

ですのでちょっと私、杉原議長とねセバスポールに2週間前ですかね、割と仲良く行った（笑い声）ときにね一番困ったのはセバスポールからちょっと離れると、びっくりしたのが何もつながらないんですよ、つながらない。サンフランシスコから1時間ぐらいしかかかってないところにね全然つながらないところがあると。しかもこういう何ちゅうんですかねWi-Fiとか要するにインターネットねつながらないんだったらまだしも、電話すらつながらないといったところなんで、いかにその情報通信のありがたさっていうのがちょっと、それはもう身につまされて。

私もあの当時滞在時にこうブログ書いていてこれは困ったっていうふうに出したんですけども、それと比べるとね今の武雄ってやっぱ進んでるのは進んでんですよ。ですがそれよりもなおかつやっぱりこう今動画がもう主体になってきていますので、そういったその動画の中身がストレスなくね、見れるようにするといったことについて、これ住むところによってね区別があっては僕はならないと思っていますのでそれは周辺、先ほど申し上げましたとおり周辺部の対策も含めてね、ここはしっかりやっていきたいなと思っております。

○議長（杉原豊喜君）

平川つながる部長



○平川つながる部長〔登壇〕

ワンストップサービスの状況でございます。これにつきましてはマイナンバー制度と極めて密接に関連しているというふうに理解をいたしております。現在マイナンバー制度これに基づきます関連します窓口での関連業務これの洗い出しを実施しとります。

マイナンバー制度につきましては27年、来年の10月から個人番号が具体的に付与が開始されるという状況でございますので、これらの全体の国のスケジュールこれに合うように現在業務のほう進めてるところでございます。

○議長（杉原豊喜君）

20番牟田議員

○20番（牟田勝浩君）〔登壇〕

まあ市長はさっきさりと云われましたけども、その通信網の整備をいたしますっていうのは多分ものすごく多くの方が喜んでらっしゃると思います。びっくりされてる方も多くと思います。やっぱりですねこういう情報通信網の整備っていうのは周辺部対策に大きく関わってくる。

市長演告でですね定住促進という言葉が使われました。そういう定住促進するためにはですねこの通信網、高速網は不可欠だと思います。

あんまり使わない年配の方はわからないと思いますけども、わからないかもしれませんが、やっぱりものすごいインパクトですよ周辺部まで来るっていうのは。田舎に住みたい、でもそういう通信網がいけない、例えば昔でいう双方向をやりたいけどそれができない、工業団地をつくって置きたいけど、工業団地の膨大なデータのやりとりがなかなかできない。そういう中でそれが周辺部、田舎でもできるっていうのはものすごいインパクトだと思います、さりと云われましたけども。何人かがおおという声が上がりましたが、やっぱりこれはですね、ぜひ実現していただきたいと思いますので再度お伺いしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

昭和30年代が最大の公共事業っていうのは僕は道路だったと思うんですね。

ちょうど私は吉川議員さんと家が、実家が近くでね、私が一番最初に家の前の記憶にあるのが砂利道だったんですね。ですがだんだん物心ついたときにそれがコンクリートに置きかわってアスファルトに置きかわっていったときにもものすごく家の周りがこう静かになったんですね。さっきあそこのまちづくり部長と話してたときに、うちの石橋幸治さんがまちづくり部長の医王寺の家の前を歩いていったときに真っ白やったと。(笑い声) 要するに砂利道だらけでね、あの性格も白いですけど服まで真っ白になったといったところで、それが恐らく昭和40年代、まあ50年代前半だったんですね。

話はうえになりましたけれども、今度のその昭和 30 年代 40 年代の道路が、実はこの I T のインフラが今その時期なんですね。ですのでこれは新たな公共事業として私自身は担当部とともに捉えています、新たな公共事業として。これは費用対効果にしてもやっぱり昭和 30 年代の道路、そして今の平成 26 年の道路整備とはやっぱ意味が違うじゃないですか、もはや。

そういう意味でいうとこれは費用対効果も含めて、先ほど牟田議員さんからもありましたように大量のデータのっていうか欲しいとかっていうのは、これどこの工業団地の方もおっしゃってるんですよ。ですのでそういう意味で新たな公共事業として位置づけたいと思っていますので、ぜひそういう意味での整備促進を I T 特別委員会の中でもね、いろんな前向きな議論をコストも含めて話をしてほしいなとこのように思っております。

#### ○議長（杉原豊喜君）

20 番牟田議員

#### ○20 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

繰り返します、さらりと言われましたけども多分ですね、鹿島も有田も伊万里もびっくりしてると思いますよ。やっぱりそれぐらいみんなやりたいのをなかなかできないのをやっばこうやってやっていただく、ぜひ実現していただきたいと思いますし I T 委員会でもそういう話題を提供していきたいと思います。

では最後の項目です。子育てについて。これもですね市長演告でいろんな定住を図りたい、いろんな人たちを引き入れたい。そして武雄はことしから、去年からでしたっけ流出人口よりも流入人口のほうが多くなったと。そういう中でこの子育てっていうを一つの大きな鍵だと思えます。もちろん今武雄に住んでる方、子育てをしてる方、そして外から来られる方。外からそうやって来られる方の多くは多分核家族の方が多いと思うんですね。そういう中で子育てをどのようにちゃんと武雄は充実させてらっしゃるのか、ここの部分をものすごく関心があると思います。

以前、前観光会長そして前市議会議員の大坪先輩よりですね、いろんな企業が来たり外から来る人が見るのはやっぱり教育と病院だということで何度も言われております。外から来るときにやっぱり子育てがですね定住、いろんな面で武雄魅力あるね、行こうか、住みたいなっていうときに、さっき言ったように核家族が多いと思います。そういう中でぜひこの子育てのほうも充実していただきたい。

今度新子育て三法が始まります、国のほうで計画されております。子育て三法、これは今度消費税 10% アップが前提なんですね。10% アップしたうちの 7,000 億をこの子育てに年間充てますよと。さらに初年度は 3,000 億プラスして初年度は 1 兆円使いますよっていうのが今度の法なんですね、そうだったですよ多分、多分じゃないね、そうです。

そういう中でその 3 項目かな——あと 5 分ですね—— 3 項目の中の途中の項でですね地域の実情に応じた要請をしていく、要望を聞いていくっていうふうな部分があります。そう

いう中でこれもその条文書いてありますけども子ども・子育て会議を中心として、要望を地域の特色を持った要望をどんどん出してくださいということでもあります。

武雄は今言ったデザイン、いろんな面で優れてる。ぜひですね周辺部の、周辺部ちゅうか武雄の周りの市と遜色ないじゃなくって、やっぱし武雄がいいねと、武雄でもいいねじゃなくって武雄がいいねというふうに言われるようなこの子育ての計画を出していただきたいと思います。これは外から流入人口に大きく関わりますし、今子育てをしてる方々の満足度をアップさせる。そして何ていうんですか、満足度ですね。福祉の向上のために計画していただきたいと思います。

時間は短いとは思いますがぜひこういう計画を出していただきたい、お願いしたいと思っておりますけれどもいかがでしょうか。

### ○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

### ○樋渡市長〔登壇〕

振り返ってみますとねこれは議会の絶大な応援をいただきましてね、その市民病院の民間移譲が皮切りになって図書館であるとか、今教育であったりとかさまざまな今まで前人未踏の領域に進んできています。そして今までこれを例えば3本の矢と例えればね4本の矢はいよいよ子育てと思っています。

そういう意味で小学校からは今いろんな例えばプログラミング教育とかスマイル学習とか官民一体学校とか、まあ給食も今度手を入れますけれども、そういった中で順調に今進んできてちょっと足りないのはね就学前のところなんですよ。あるいは赤ちゃんをお産みになるね、お母さん予備軍の皆さんたちのケアがちょっとやっぱ足りないというところ、そしてこれひとり親の皆さんたちもふえてますので、そういった方々の徹底的なケアですよ、温かいサポートですよ。こういったものを含めて今度はそちらのほうに、もう教育は教育委員会にもうこれからやってきますので、今度子育てに私もその政策でねやっていきたいなと思っています。

今もとより吉牟田さんが、猪村さんが教育委員のときに連れて来られたね吉牟田先生がものすごくやっぱ評判が内外からやっぱいいんですね。ですので吉牟田さんと心中します、うん。心中は向こうは望まないと思っておりますけども。その上でね場所も含めて今の北方のその場所も含めて機能も含めて、あと検診センターの話もさまざまな議員さんからも御指摘がありますので、そういったことも含めてねハード、ソフトで抜本的にこう見直そうと思っていますのでぜひ議会のほうからね、子育て中の方もいらっしゃれば子育て終わった方々もいらっしゃいますけれども、そういった意味でまた御指導がいただければありがたいなというふうに思っています。

その目に見える形として、長くなって恐縮なんですけど、まずキッズライブラリーをまず

先陣切ってやっていきたいと思っています。それに相関連して子育ての総合支援センターでありますとか検診のスペースでありますとか、あるいはお母さんたちが集まるようなねところであるとか、これを一気にどーんじゃなくてできるところからスピードを上げて順々にやっていくと。それも市民の皆さんたち、特にお母さんの意見を踏まえながらいいものをこうつくってきたいというふうに思っております。

したがって我々の任期が切れる、まあ人気がある人もない人もいますけれども、任期が切れるときにはあれですよ、武雄市って、ああ子育ての町になったよねって、教育・子育ての町になったよねと。終わるときは任期満了のときだと思っていますので私は決して辞めないということを申し添えたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

20 番牟田議員

○20 番（牟田勝浩君）〔登壇〕

武雄でいいじゃなくて武雄でよかった、武雄がいいっていうふうにぜひこれからの子育て支援お願いいたしまして質問を終了いたします、ありがとうございました。

○議長（杉原豊喜君）

以上で、20 番牟田議員の質問を終了させていただきます。